

国立市下水道事業経営戦略（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果

１．パブリックコメントの概要

募集期間：令和７年１２月１０日（水）～令和８年１月５日（月）（必着）

提出方法：郵送、FAX、メール、持参、下記閲覧場所に設置の回収箱に投函

※回収箱設置箇所：国立市役所情報公開コーナー、くにたち・こくぶんじ市民プラザ、北市民プラザ、南市民プラザ、公民館、中央図書館

２．結果：意見提出者数 １人

３．いただいたご意見の内容及び市の考え方：以下のとおり

No.	頁	項目	ご意見	市の考え方	修正有無
1	8	雨水汚水処理費	<p>雨水と汚水の違いを理解できたので良かったです。</p> <p>雨水は公費とのことですが、そうなると雨は全く降らない方がお得になるのでしょうか？お得という言い方はあれですが、費用は減少するのでしょうか？</p> <p>そうなのであれば、毎年の降雨量のデータも戦略(案)に記載があっても良いのではないかと思います。もし記載があったらすみません。</p> <p>雨量と費用の関係の点だけで構わないので、解答いただけますと幸いです。</p>	<p>８ページの枠内に記載のとおり、汚水は下水道使用料（私費）を原資として、雨水は雨水排除の便益を社会全体で受けることから、税金（公費）で負担しています。</p> <p>雨水処理に要する費用は下水処理場の処理水量（流域下水道本部からの報告）一有収水量（使用料がかかる汚水の水量）で算出し、市の税金で負担しています。</p> <p>毎年の降雨量が減ると雨水処理に要する費用が減るため、税金の費用が減少します。</p> <p>処理している雨水の量は公営企業移行後の過去５年の平均で約2,200,000㎡であり、雨水処理に要する費用は例年約7,600万円程度要しています。経営戦略（案）には過去５年の雨水量及び雨水処理に要する費用を掲載します。</p> <p>なお、気象庁の降雨量データは府中地域気象観測所のものであり、処理している雨水の量とは合致しないので、経営戦略（案）では実際に処理している雨水量で表記します。</p>	有